

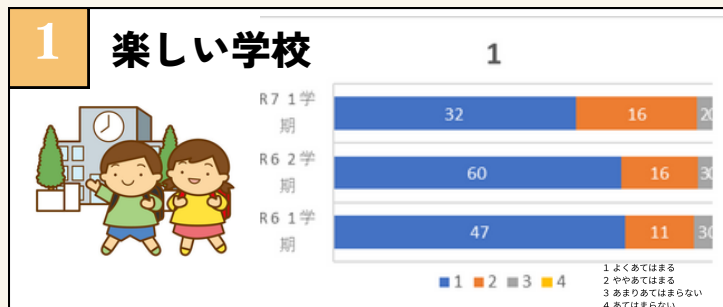


学校評価アンケート結果 1学期末

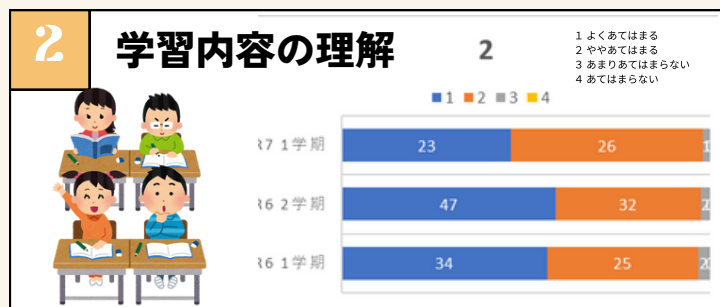
日頃よりミュンヘン日本人国際学校へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

50名の保護者の皆様に、グーグルフォームでのアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートへのご協力の呼びかけが不足したことにより、回答数が少なくなっていました。失礼致しました。回答が十分に集まっていませんが、結果を参考に2学期に向けて子どもたちの指導、支援に力を注いで参りたいと思います。選択式のアンケート結果については、簡単な考察を加えました。また、個別に頂戴しましたご意見について回答を作成いたしました。

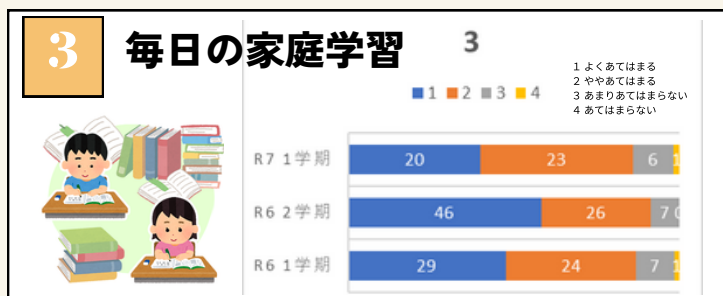
ご一読いただき、よりよい学校運営のために、引き続きご支援を頂戴できますようお願い申し上げます。



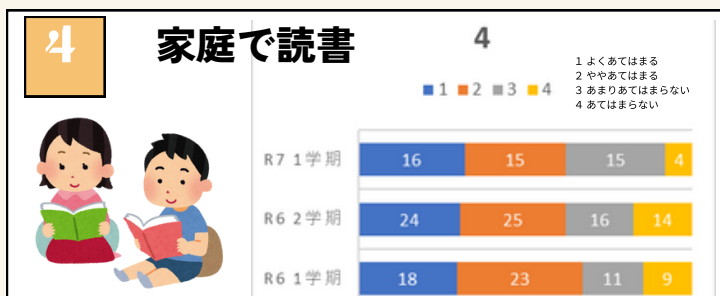
楽しく学校に行くことができている子どもたちが多くいます。うれしく思います。一部の楽しいと感じていない子どもたちの気持ちを、面談等で聞き取り対応したいと思います。子どもたちの姿を見て楽しい学校づくりに努めて参りたいと思います。



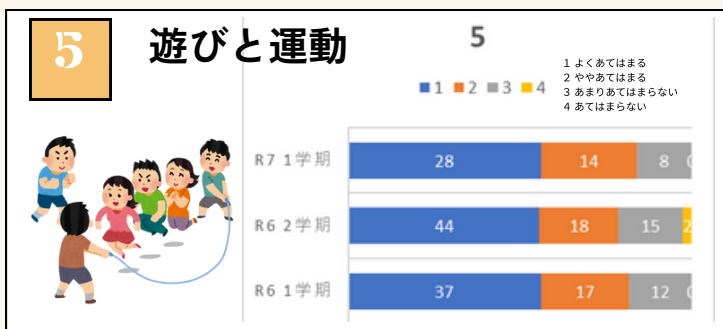
ほとんどの子どもたちが学習内容を理解しています。子どものもっている力や友達同士の協力も大きいと思います。ICT機器を活用して、視覚的にも分かりやすく楽しい学習になるように努めたいと思います。



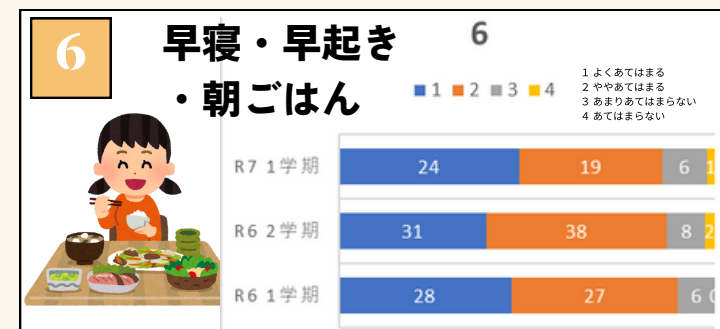
家庭学習への取り組みの大変良いの比率が低下しています。中学部では、家庭学習のあり方について教科担当が折に触れて指導しています。小学部でも、家庭での学習習慣が定着するようにご家庭と共に取り組みたいと思います。



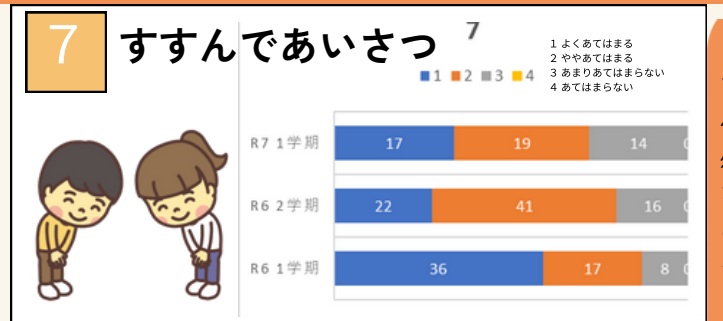
「習い事などで読書の時間がとれないのか」「時間があってもゲームなどで読書できないのか」理由を探りたいと思います。中学部の読書量が少ないのが課題で、今後も図書委員会で読書を促すように取り組んでいきます。



今年度、体育館・中庭の割り振りを見直し、使用できる日が増えました。異学年が関わり合いながら遊ぶ様子も多く見られるようになっていきます。2学期も引き続き、中庭や体育館での遊びを呼びかけていきたいと思っています。



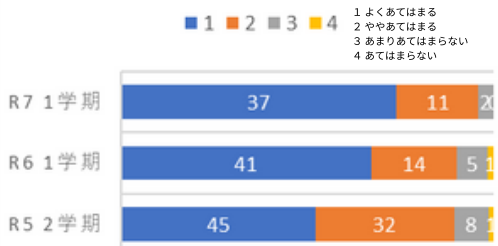
規則正しい生活は、学校での学習効率にもつながります。成長期の子どもたちにとって、早寝・早起き・朝ごはんはとても大切なことです。学校では道徳の授業を中心に、十分な睡眠と食事の大切さの啓発を進めていきたいと思っています。



中学部生徒会がエントランスでの挨拶運動を行ったことで、小中共に挨拶の意識の高まりが感じられました。小中が連携しながら、定期的に取り組を進めていきます。学校として何かイベントなど行って意識化を図っていききたいと思います。

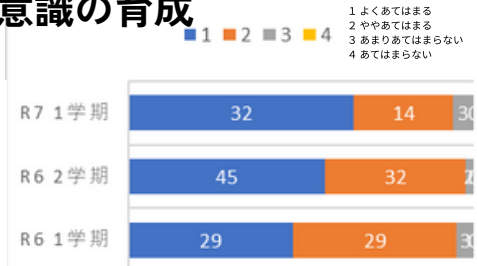


1 ドイツ語・MT・現地理解教育



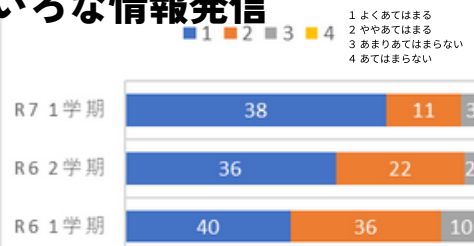
在外の地にある学校という優位性を生かして、今後もミュンヘンタイムを中心に校外に出てドイツ語や英語を使える機会を大切にしていきます。2学期は、文化祭や現地校交流もあるので、これを生かして現地理解教育の充実に努めたいと思います。

2 規範意識の育成



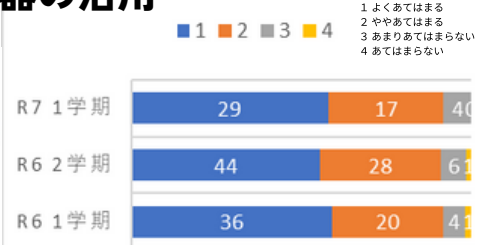
各学部の集会等で、きまりを守ることの大切さについて定期的に話をしています。今後も、なぜ大切なのかを子どもたちと一緒に考える機会を設定します。生徒指導の係による長期休業前後の話を通して全校で規範意識の育成を図ります。

3 いろいろな情報発信



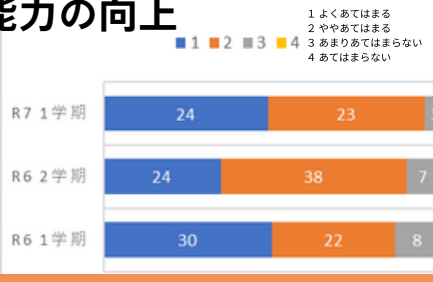
毎週各学年より時間割に添えて、学級の子どもたちの姿を画像や文章でお届けしています。また行事の様子などを学校通信や校長室だより、保健だより、ホームページ等でお伝えしています。今後も行事等での子どもたちの姿をお届けいたします。ホームページは、一部パスワードが必要です。

4 ICT機器の活用



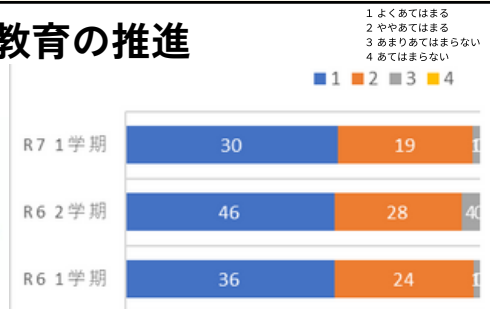
本年度よりロイロノートというアプリケーションを購入してタブレットの活用をさらに進めています。学年や学習の内容に応じて、より効果的な使い方を検討しながら取り入れていきます。また、教科書のデジタル版を購入して授業中の指導に活用しています。

5 言語能力の向上



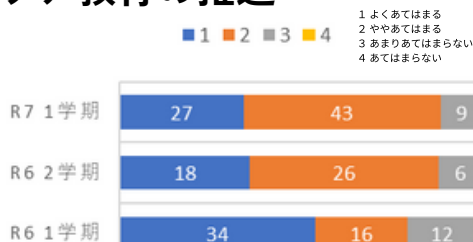
本年度より、ドイツ語の授業で班編成が変わらないようにしました。ミュンヘンタイムについては、その際に使えるドイツ語を担当も加わって事前指導しています。英語は、時間数に限りのある中、ガファート先生と英語担当教諭が指導しています。今後は言語の活用の場が多くなるようにすることを考えています。

6 人権教育の推進



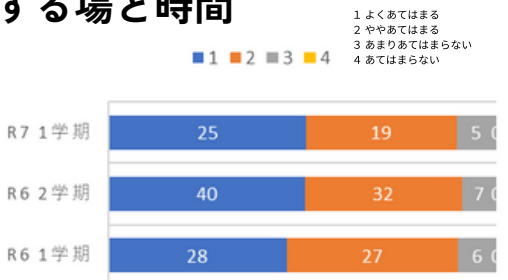
毎学期の始めには、安全に関して話をする時間を学部全体で設けています。道徳や日々の教育活動の中で、安全面や互いを尊重しながら生活することの大切さについて考える機会を設けています。学活や道徳の時間などを上手に活用して人権教育を進めていきたいと思っています。

7 キャリア教育の推進



外部の講師をお招きしてキャリア教育を行っています。中学部では、本年度も日本とオンラインでつなぎながら様々な職種の方のお話をお聞きする予定です。小学部でも授業の中で、担任もキャリア教育に関連することを話しています。将来の自分の姿をイメージして、自らを磨き自分らしく歩いていってほしいと思います。

8 相談する場と時間

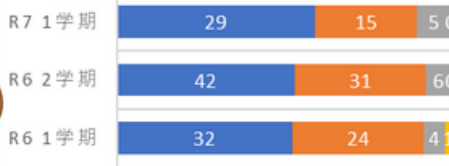


今年度から、新しいスクールカウンセラーのマハタ先生が毎週月曜日に勤務しています。マハタ先生への相談件数も増えて活用が進んできています。保護者、児童生徒の皆さんに気軽に相談ができることをお知らせしていきたいです。また、健康面で心配なことは保健室のサイラー先生にご相談ください。

9

言語環境の充実と日本の文化・伝統を重視

■ 1 2 3 4
 1 よくあてはまる
 2 ややあてはまる
 3 あまりあてはまらない
 4 あてはまらない

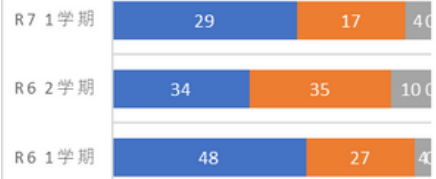


文部科学省委託のAG+という事業を引き受けて「複言語環境における言葉の力の育成」というテーマで研究を行っています。学校や家庭において主な言語は日本語が多くなりますが、一歩外に出ればドイツ語や英語を使うことのできる環境があります。在外の地にある学校というアドバンテージを活かして、ミュンヘンタイムや現地校交流などでドイツ語や英語を活用した場を持てるようにしたいと思います。

10

人的、物的環境の充実

■ 1 2 3 4
 1 よくあてはまる
 2 ややあてはまる
 3 あまりあてはまらない
 4 あてはまらない



運動場、遊び場、集会室、会議室など現在の施設を拡充するために増築のプランの作成が本格化します。ドイツの建築の手順に沿ってフェーズごとに認可を受けながら建築が進みます。小学部の児童数の増加や休職等により人的な面でも柔軟に対応しながら、丁寧な指導を心掛けていきたいと思っています。

自由記述より

温かなご支援のコメントを頂戴しました。ありがとうございました。

「いつも子供たちや保護者の声に耳を傾けてくださる校長先生をはじめ、学校職員の皆さまには心から感謝しております。これからも協力し合い、より良い学校づくりをしていけたらと思います。」「学校の授業や行事内容を通して、「海外で生活する子ども」への配慮が感じられ、とても感謝しています。本当に楽しそうに学校に通っています。習ってくることも刺激になっていると感じます。」「いつも、個人の個性や成長に合わせた関わりを持っていただきありがとうございます。先生方にはいつも感謝の気持ちでいっぱいです。」「いつも楽しく通っています。ありがとうございます。」

ご意見1 ハサミ（物理的なモノ）を持つことも大切なのですが、ハサミの危険性を理解した上で効果的な使い方ができるとよいと考えています。

個人もちのハサミや図工の際に使う道具など、使い方と同時に安全指導に気を配りながら指導したいと思います。子どもたち自身も気づき、気を付けて使えるようになってほしいと思います。

ご意見2 ドイツでは日本語の本を手に入れることが難しいので、学校の図書館は大変ありがたいです。時間のたくさんある長期休暇にじっくり読書に取り組んでほしいと思います。長期休暇中に何回か図書館の貸し出しを行なっていただけないでしょうか？

このご意見を受けて、夏休み中に3回図書館の貸し出しをいたしました。多くの子どもたちが利用してくれました。今後も、夏休み中の本の貸し出しを継続したいと思います。



ご意見3 英会話の時間と英会話の先生を増やして欲しいです。

英語の授業を、昨年度より小学部1, 2年生で始めました。3年生からの教科書を使っでの学習と連携を図っていききたいと思います。MTや現地校交流でも英語も使って進んで交流できるようにしたいと考えています。

ご意見4 最近暑い日が続いているので、お弁当を涼しい場所で保管できるようなもの(冷蔵庫や冷暗なところなど)があれば安心です。

本年度は7月に暑い日が連続でありました。暑さ対策として、エアコンのあるパソコン室や地下の教室等を活用しました。それ以降、いつものミュンヘンの気候に戻りました。国内の公立学校でのエアコン設置が進んでいることから、本校でも要望を上げています。お弁当については冷蔵庫の数が限られているため、暑い日の保管場所については涼しい場所を探して対応することになります。

ご意見5 夏の期間はとりあえず授業中でも自由に飲み物を飲んでいいと指導されているようですが、水分補給に関しては、季節を問わず子供の意思で自由にするべきではと思います。子供の意思で考えて行動することが少ないように感じます。

授業に差し障りが無い範囲で季節を問わず子どもたちは水分補給を行っています。熱中症が心配な時期には、教師が声をかけて給水タイムをとっています。ご指摘のように、気づいて行動できる子どもになってほしいと思います。

ご意見6 学校への欠席連絡を、従来の電話連絡に代わりアプリを使用する等、デジタル化するのはいかがでしょうか。

現在の校務支援システムの中に、欠席連絡ができる機能を取り入れる方向で検討しています。貴重なご意見をありがとうございました。

